夕刊
〔日曜日〕 昭和九年十一月二十五日 磐城新聞 第四千百八十六號 〔一〕
〔日曜日〕 第三種郵便物認可

青年の覺悟

吉田松雄

筆者は過般平町役場吏員より滿洲國經理官に就任した人、この一文は在平當時に於ける寄書の綴稿である

三

ならばそれは淺野內匠守の又現在の自己を公平に批判して見て他に比し、その人格に一段の光彩を添ふるのみならず、あゝした騷動地位が低く、酬ひられる月給が僅少であり、與へられる賞與が少額でも直に輕擧の最後を遂げずとも濟んだ盲動的の行動があつてはならぬ。入間には能、不能がある

適材適所といふこともあり・又人間の仕事であり觀察である限りは上役の眼界の屆かぬ所もあるものだ

自分の分擔する仕事が自分の特質に及び長所に適合せざれば、明かに順序を經忍自重長い月日を苦勞に苦てその事由を申出でればよい、上役の眼が屆かぬ時は隱忍自重して上役の眼の屆く迄仕事に精勵すべきである。而して尙上役の眼が屆かぬ時は靜かにその事情を申し出すればよい

而して尙容れざる時は斷然その容れざる所を去る。それは最後の手段でなければならぬ

赤穗義士四十七名が主君の仇を討つたのは當時の道德から觀れば立派なことだ併しそれよりもその主君である淺野內匠守が殿中に於て、吉良上野介の侮辱に對して今一息の隱忍自重したならばそれは淺野內匠守の光彩を添ふる

尤も俺は今日の文明時代に仇討をせよといふのではないから履き違ひてはならぬ。氣慨を示すのは最後である。堪へ忍ばれぬことをも堪へ忍んで初めて行ふことである。所謂堪忍袋の緒が切れて始めて發揮する男子の意氣地である

自分では堪忍した意で、いよ〳〵堪忍袋の緒を切らして行つたことでも他人の冷靜な批評に俟つと尙一息の忍耐心を缺いて居るといわれることがある

11月25日——△今上天皇攝政に御就任（大正一〇）△11月26日——我軍新民屯に入城す（昭和六）△馬占山の密書遊就館に陳列さる（同七）△日印澤田、ポア兩氏の私的會商行はる（同八）△國學者上田秋成歿す（文化七）△天津の一支那軍突如日本租界を砲撃す（昭和六）△日本最初の兒童唱歌競演會開かる（同七）△凱旋の高波部隊長及び宇都宮高崎部隊を滿載した國際列車、北鐵西部線で匪賊に襲はれ死傷十六名を出す（同八）

耐倉の一日

○

食うぶればほのかに甘し新米の、ましろき艶の飯のつぶ〳〵

齊藤 紫月

知る者は言はず、言ふ者は知らず

老子

凍てを踏む者

好間 金成磐洲子

失戀の凍て唇をしかと噛む
失戀の瞳にうつるものみな凍てぬ
失戀を秘めて凍て踏む一人なる
失戀の心に任せ凍てを踏む
失戀の我れ踏む靴は地と凍てぬ
失戀の男に凍てる街よ灯よ
失戀の我れに凍てる灯あまたあり
失戀の極みに踏みぬ凍て灯影
失戀の我れ凍てゝ灯を浴びて來し
失戀の我れ凍てるまで歩きけり

詩 武藏野の十一月

鳴海 杏一

1 すがれたコスモスは微かに匂ひ
夕靄は八角金盤を紅く染める
大根畑に犬が吠えて居る
櫟林に小鳥が憩を求める
北風が私の心に凍りつき
紅い富士が私に寂しく微笑む

2 楓は愈紅く、常盤木は愈勁ずむ
武藏野の黑土には生命の力が漂ふ
車に載せる野菜に若い百姓は
希望と歡喜を投げ與へる

3 林の中に或は籔の中に迄文化が顏を出し初めた
疲れ切つた都會人の腸々しい
心臟の鼓動が靑空に徹する
私は机上に夏の花の夢を夢みる

4 北からの風が破れ寺の扉を叩く
僧房の燈火が搖ぐ
凍りついた蛇が天井から落ちて來た
何も聞えない無氣味な雰圍氣が私を取圍む
さよなら

5 蒼白い顏が秋の陽に嬉しげに笑ふ
僅かな人を羨かしげに乘せて
秋晴の下を電車が通る
刈上げられた稻の穗がパラ〳〵と地上に落ちる
北からの風が破れ寺の扉を叩く
僧房の燈火が搖ぐ
凍りついた蛇が天井から落ちて來た
何も聞えない無氣味な雰圍氣が私を取圍む
さよなら

6 清く澄める朝の空氣が私の懷ろの小鳥をおとなしくさせる
瞬間の喜びに私は醜い屍を忘れる
雀の群が音をたてゝ飛び廻る
私の小鳥も動き出す
私は私の現實を叩きつけたくなる

7 古い小さな乘合自動車に
後しざりする私の地平線よ
白々と霧の中にふみしだかれる生物たち

8 私は私の持つ黑と白との幻想を悲しむ
投げすてるには餘りにムゴイ想ひ出だから
崖下の電車に死の刹那的の喜びを見出した
然し弱い人間は意志の存在を認めなかつた
獨り眠つて居る
その頰には涙が蟲の樣に傳はつて居る
車の轍は霜柱を小さくふみしだく

觀楓

『夏井川溪谷』 佐波古函峯

落葉紛々石澗濕。棧橋雜渡入紅林
觀楓一隊自山下。白雲去來秋色深
秋日風寒霜氣加。江楓漏々亂煙霞
淸流巖上色深淺。簡殺幽山夕照斜

短歌會

一、期日時 十二月二日（日曜）午前十時より
一、場所 マルトモホール
一、題 （煙草）（近作） 各二首以內
十一月三十日迄本社宛送付の事
一、會費 金二十錢

戶隱奇譚 山の怪秘

(47)

丸山寬雄 作
眞木浪書 (三)

山上の合戰

その時、太郎の配下がふんでゐた一人が言ふ。見れば、この畦に住む蛇である。この泉には毒が入つた。赤くなつてくるやうが、醉つたやうにダラリとなつて卷上る力さへ失せ手の平に握られてゐる

『こゝの蛇も參るやうでは可成り强い毒を投げ込んだのだ。返す返すも憎い奴等のだ。返す返すも憎い奴等の上の三人の奴等を打ち落さなくちやならねえ』

太郎は憤怒の念をこめて荒々しく立ち上つた。手に逢が神樣のやうに貴んでゐた靑銅の楯はその瞬間、ふむ刹つた。して見ると矢張り此奴等の仕業だ。何から毒物でも投げ込んだものらしい。みんな手をつけるなつてゐる。これも摺り落されることだらう

先陣の若者は、あと數尺にして頂上に達しやうとした際、案に違はず岩の突起を砲撃す（昭和六）△日本最初の兒童唱歌競演會開かる（同七）△凱旋の高波部隊長及び宇都宮高崎部隊を滿載した國際列車、北鐵西部線で匪賊に襲はれ死傷十六名を出す（同八）

兒童籠球平軍全勝

昨大會の驚異的戰績

體育協會石城支部主催第一回郡下小學兒童籠球大會は昨二十三日新嘗祭の佳日をはじめ、佐藤衆介、鈴木武トし午前九時より平第一雄、丹野富士男等を有する（男子）同第二（女子）兩校コ實人員四十五名、延七十七名トに於て開催、左記成績非常な人員九十餘名の本部と賞により男子尋常科平第三、同高等科平第一、女子尋常科平第二、同高等科同が抽ちで平全勝となり午後二時盛況裡に閉會した

△男子尋常科 1平第三
2夏井 3磐崎尋高
夏 井14——54平第三
平第三42——26磐 崎
磐 崎19——20夏 井

△同高等科 1平第一 2小名濱 3草野
小名濱155——6草 野
草 野7——134平第一
平第一57——24小名濱

△女子尋常科 1平第二 2小名濱 3神谷
小名濱43——0神 谷
神 谷2——47平第二
平第二34——8小名濱

△同高等科 1平第二 2小名濱 3四倉
四 倉4——69平第二
平第二47——11小名濱
小名濱48——16四 倉

平局內野球 平局內野球リーグ第三日昨廿三日の試合は

電 信7A——6保 險

で明二十五日午後二時から平商校庭の集配對郵便の一戰を最後に終了する

平第一校 體操推奨

知事より激勵さる

最近縣主催の體操科巡回指導研究會で縣下一の折紙を附せられた平第一校では此程千田指導官の報告に基く縣知事の激勵に接し篠山校長以下全職員喜んでゐる

農產品評會 上、入遠野田人組合聯合農產物品評會は二十三日から三日間に亘り入遠野小學校で開催中であるが出品六百四十七點であると

兒童劍道試合 平第一校劍道部では今二十四日放課後好間第一校同部員を迎へ練習試合を行つた

公記錄測定 平第一校今廿四日及び明後廿六日の兩日全校生の公レコード測定を行ふ

勿來靑年優勝 植田町外一町八ケ村聯合靑年團體育大會は昨二十三日午前十時から植田小學校で開き勿來靑年が優勝した

四倉通信

信用組合總會 四倉信用組合では來る廿九日午後一時より第十四回通常總會を開催左記事項を協議する

一、九年度財產目錄、貸借對照表、事業報告 二、剩餘金預け入先銀行決定 三、諸積立運用 四、十年度借入金最高限度決定 五、同上貸付額 六、販賣品等歩合金 七、信用評定委員廿四名任期滿了に付改選

アグリ船大漁 四倉町管內東北沖合各アグリ船共夥の大漁にて活氣を呈して居る

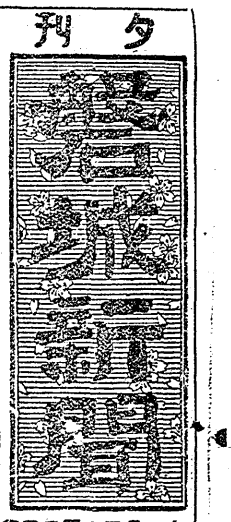
四倉署非常呂集 四倉署では今二十四日午前一時半非常召集を行ひ一時頃同町中町資屋商店に二人組の强盜入り主人を縛し現金七百五十圓を奪つて逃走』なる想定の下に金成四倉、早川大浦の兩消防組頭を模擬の賊に仕立た捕賊演習を行ひ同六時頃新舞子海岸を船で逃げる所を逮捕、同所で講評好成績裡に終つた

二十五日

日出 六、二六 月出後 七、五二
日沒 四、三〇 月沒前 九、五二
滿潮 前八、三五 千潮前一、一〇
後六、三五 千潮後一、二〇〇

二十六日

日出 六、二六 月出後 八、五一
日沒 四、二九 月沒前一〇、二九
滿潮 前九、二五 千潮前一、四〇〇
後七、一〇 千潮後二、〇〇〇



十一月二十四日發行
定價一ケ月金拾五錢 廣告料金 會社團體一行一回金六拾錢 個人一行一回金五拾錢 磐城新聞社 磐城郡平町字鍛冶小路 電話三三四四番 振替仙臺一六五番
（日曜祭日翌日休刊）

廣告

自動車ノ御用ナラ何デモ御仰セ付願ヒマス。
昭和驛前
電話 三三四四〇三番
タクシー

一、充實セルタクシー部
一、高級大型團体遊覽車
一、乘合 豐間、江名、中之作方面 小名濱直通 靈峯關伽井嶽
一、貨物一般運送
株式會社 二共商事
合資會社
平町大町電三六〇

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
郡山驛より約三十丁
安積中學より約五丁
入院隨時
郡山市外大槻村針生
郡山腦病院
電話九二五番
院長 醫學士 金森五郎

內臟外科一般（入院隨意）
外科花柳病科
平町六丁目〔橋際〕
木村外科醫院
電話三〇九

產婦人科
外科
藥局
醫學博士 內木宗八
藥劑師 玄番彌一
平町新川町十九番地
入院隨意 病室完備
木村病院
院長 木村寅次郎
電話一六四番

外科 內臟外科 病室完備 レントゲン線
醫學博士 諸橋鐵彌
新川町二七（電四六四）

縣下の鐘紡工場地は 平にし度い社長の腹
實現するにしても明後年頃か
青沼町長の上京運動經過談

平小鐵敷設に關し上京の青沼町長は此程の町會でこれが設置促進委員をも擧げて本格的猛運動に乘り出した鐘紡問題に關し同社隅田川工場長丸山幸藏氏と會見懇談した處同工場設置に就いては現在郡山、本宮、二本松、須賀川、白河の一市四町から引つ張り凧の態であり平町へ設置せんとするのも同社長津田信吾氏の意嚮で未だ重役會の議にも上らないが實現するとせば多分明後十一年になるらしく同社長の意見としては

敷地は大体五、六萬乃至十萬坪、水は河川を使用しても一晝夜一萬五千石か電力は千キロ位で綿絲か絹絲か未だ確定せず若し電力で安價に上る場合は石炭を使用せず

とあるが運動如何によつては實現の可能性も無いではないので同町では直にこれが設置の陳情書を送る一方今二十四日午後二時から平小鐵問題と併せ促進委員會を開き運動方法を協議した

平小鐵實現確定
陳情團に對して 内田鐵相明言

平小鐵敷設問題は最近前後二回に亘つて行はれた物資調査によつて遂に好轉したので青沼平町長は一昨二十二日小野小名濱町長と共に滯京中の金成、鈴木貴衆兩院議員の援助を求め内田鐵相並に池田建設局長と面接種々懇談した結果一部傳へらるるが如き實現延期等の事實なく臨時議會により愈々明年度に工費三萬圓で基礎測量をなし十一、二兩年度に亘り總工費百二十萬圓で初期の如く着手するとの明答を得地方多年の懸案は茲に愈々確實となつた

石炭運賃收入に大變動は來まい
平小鐵完成後の常磐線

近來頓に實現の氣運濃厚となり絶大の期待を集めて居る平小鐵道に對し過般の關堀内兩書記は豫定より一日を延期し且つ水戸運輸事務所との間に愼重協議する所あり更に長屋建設事務所長は廿日驛樓上に青沼町長と懇談する等問題は漸、本格的に進展し來つた模樣であるが一方之が實現に伴ふ海運との聯絡により鐵道の重要收入である石炭輸送の減少を來すであらうと懸念を持たれたが、之に對しては現在の湯本、小名濱間磐炭専用軌道と小名濱商港の完成は共大な關係を有するも絶大な需要地として甲信越方面への輸送が多大であり大局には大した變動はあるまいと觀測されてゐる

健康週間始まる
衛生繪畫展
けふから平署で

今二十四日から一週間の健康週間に際し平署では管内一般に亘り既報の事業を實施せしむる一方今早朝から自動車でこれが宣傳ビラを撒布した、尚週間中は同署會議室で衛生繪畫展覧會を開き一般に公開する

無料散髪 奉仕
健康週間始まる

平理髪業組合では今二十四日よりの健康週間に際し兒童の無料散髪を申出でたので平第一校では散髪券を作成、貧困児童を理髪店に送り申出を受けることになつた

○。○。○。磐女ラヂオ体操。○。○。 磐城高女では今二十四日よりラヂオ体操を行つた

磐女父兄會
今日植田で開催

磐女菊田方部父兄會では今二十四日午後二時より植田小學校に懇話會を開いたが學校よりは正木校長以下左記各教諭が出席した

土岐、森、淡路、田中、酒井

凶作地救濟金に 汗の結晶を義捐
＝奇特な神谷の農青年

既報―過般神谷村役場へ凶作地へと七圓五十錢の小爲替を贈つた篤志青年は取調べの結果同村大字鎌田字石名坂農荒川忠明(三〇)で救濟工事に出役して得た殘餘金で同役場でも少からず感激してゐると

鷹崎校新築
一昨廿二日上棟式

平町鷹崎千代子女子經營の石城産科婦看護婦學校では近來生徒の增加に伴ひ從來の設備では狹隘不便を感ずるに至つたので過般來新築計劃中であつたが愈々一昨二十二日上棟式を擧げた、新校舍は總二階造りで採光通風理想的の設計に係り年内に竣功の豫定であると、因に同校は明治三十四年七月の創立で爾來多數の產婆看護婦を養成し地方に貢献した事少からず明治四十四年三月時の平田内相から表彰された事がある

平署で購入する 透視鏡犯人鑑別器
一入警察機能の發揮計劃

檢擧件數で縣下一の平署では更に警察機能刷新の一方法として既に福島、宮城の兩警察部が好成績を收めて居る『透視鏡犯人鑑別器』價格三百圓を購入する事になり今二十四日縣刑事課へ交渉する處あつた

同器は證人をして犯人の眞偽を鑑定せしむる場合犯人に見られずして之を鑑識出來得る精巧なもので犯人の手前後難を恐れて證言を遠慮せずに濟み犯人捜査上益する處極めて多いものであると

想されてゐる

漫談と映畫の夕
今廿四日聚樂館で

平青年團の資金造成事業たる『漫談と映畫の夕』は愈々今二十四日午後六時より聚樂館に於て開催するが帝都漫談界の雄徳川夢聲氏の出演に入氣を呼び盛況を豫

獨身從業員の 溫いホーム
入山八仙寮好評

入山炭鑛では此程小山田人事係長の發案で同町八仙に工費七千餘圓を投じ會社直營の合宿所を設けその名も「八仙寮」と名づけ現在獨身青年七十五名を収容してゐる、部屋の一部には立派な娯樂室まで備へられそれに從來遲刻などする者もあつたのがそんな弊害はガラリ一掃されて能率の向上に同係長もホク／＼顔、會社直營の合宿所では常磐炭界のトップを切つたものである

汽車に迄進出して 惡桂庵を退治
平署で近く移動警察開始

凶作が生んだ娘地獄救濟に賣婦女の事前發見に努め、關しては既報の如く縣社會其保護施設を講ずる等其積課に於て各職業紹介所と連極的救濟策に乘出す事にな絡活躍中であるが、更に内つた、尙新たに移動警察官務省警保局では社會事業團を東北各列車内に乘込ませ体及び民間諸團体と連絡協檢察を行はしむる事となつ議し、惡周旋屋に對してはたが目下惡周旋屋等にも大嚴重なる取締りを斷行し、彈壓を加へて居る平署でも違法行爲をなすものを徹底何れ縣警察部からの通牒に的に糺彈すると共に藝娼妓より近く實施の運びに至る酌婦の許否を愼重にして身だらうと觀られて居る

哀な娘から吸つた 鮮血を吐き出さす
潛り周旋屋の惡事露現

内郷村白水炭礦雜婦宮野わく(四二)は生活苦から去月三十日長女とよ子(一八)を前借五百圓で平町三丁目料理業三島屋へ酌婦に住み込ませ本月十四日同家から植田町同水戸家へ六百圓で鞍替えした處、水戸家の前借が七百三十八圓六十錢になつて居るのでわくは一昨二十二日午後平署へ絶り取調べると内郷村宮モグリ桂庵遠藤政之助(五六)が介在して百三十餘圓をせしめた事發覺、該金を出させて話が纏つた

故四家訓導 墓碑除幕式

既報―平第二校卒業生有志の醵金によつて豊間村原町淨願寺の墓地に建設された故四家保男氏の墓碑除幕式は今二十四日午前十一時より遺族及び關係者を招き執り行はれたが青沼平町長、酒井同助役、井上保護者會長、鈴木豊間村長、大平同校長等參列した

鮫川水利組合臨時總會

三十日午前十時から平圃体事務所で開き九年度追加更正豫算、灌漑區域編入反別その他を附議

流石町場丈けに 甚い辨當は少い
第三校で内容調べ

平第三小學校では一昨二十二日兒童の辨當調査を行つた處

出席兒童一、〇八八名中持參一、〇五六名で、持參せざるもの貧困一名、其他理由三十一名

であつたが、其の他中には貧困に因るものも相當にあらしく注目されて居るが内容は

米飯五五三、麥飯四九五、芋、大根葉等混食物八

その副食物は梅干の三三一を筆頭に野菜類二三四、肉類二〇二、海苔、魚、鹽引、漬物等がそれに次いで居るがゴマ鹽二、醬油をかけたものが五名あつたと

街頭に起つ
凶作故郷の爲に 磐中出身生の活躍
＝東北救濟學生聯合會に參加して＝
早稻田勿來會員 中村正夫

第一日 淺草田原町

今や降雪期に向はんとして居る、悲慘なる東北凶作地の吾々同胞の窮乏を救濟せんとして立つた東北六縣出身早大生より成る、早稻田大學東北救濟學生聯合會は、東北振興會及東京日日新聞社後援の下に本二十一日より二十三日迄三日間新宿に銀座に、或は淺草に都下各地に各團体分任せられて午後二時より八時迄一齊に饑餓線上に在る東北の吾々同胞の爲に必死の活動を開始致しました。

午後二時

吾々勿來會員も本部に當られて居る正門前のライオン・ベーカリーに幹事の指揮の下に集合致しました。各縣の學生諸君も續々參集せられて百數十名の多きに達しました。委員の方よりメガホン義捐箱等の配布を受け、白布に黑々と書かれた布を肩をかけた一行は磐中卒業生より成る十數名で、圓タクに分乘して一路目的の田原町に向ひました。都にもやはり逝く秋の肌寒い風が頰を打つてアスファルトの上を過ぎて行き、路行く人々の影も何んとなく淋しげに見受られて一しほ故郷の方々の事等が察せられ、吾々はどうかしてより多くの御同情を街の人々にお願ひせんものとメガホンを力強く握り締めました。田原町の廣い交叉點をへだてゝ各角に分れた一行は誠心からの叫びを以て、東北凶作地の方々の窮情を訴へて其の御同情をお願致しました。始めての事とは云へ、故郷存亡の機を憂ふるの赤心から迸り出づる熱誠は人々の心をいたく動かす事が出來ました。一人二人と

義捐金を小 箱に入れて『御苦勞樣』とか、或は『少しですが』と云つて去つて行かれる人々に吾々は唯『有難たう御座いました』と心からの感謝を以て深く頭を下げるのでした。やうやく黃昏の迫つた辻々からは鈴の音と倶に、友人達の叫び聲が神々しい迄に美しく洩れて來ます。次第に重く成り行く箱を握り締めて今更に人の情に感じつゝ尚も叫び續ける一同の聲は宵の淺草に力強く響いて居りました。十五日の澄んだ

青白い月が 夢の様に松屋の屋上に浮び上ると思ひ出した樣に人足が急に增して、又都の夜が訪れて參りました『學生さん少しだが送つて下さい』と塵に汚れた年老ひた勞働者の方が一枚の白銅を入れて下さつた姿に私は唯感激の餘り聲も無く誠心からの『有難たう』を胸の中に答へつつ時し宵闇に消えて行く後姿を見送つて居りました。やがて八時の定刻も過ぎんとしたので吾々は

幾多の感激 を受けつゝ第一日の活動を終る事に致しました

二十一日―淺草區田原町(午後二時―八時) 二十二日―雷門(同) 二十三日―四谷區四谷鹽町(午前九時―五時)

郡下敎員 庭球大會

石城体協支部主催第七回郡下敎員庭球大會は申込み少きため中止の已むなきを危ぶまれたがその後左記の如き申込みあり愈二十五日平第一及び平商兩校コートに於て東日カップを繞り開催する事になつた尙前回の霸者は好間第一鈴木―中山組で決勝戰の敵手磐女大内―鈴木組が出場せず再勝するかどうか注目されてゐる

磐崎第一二組、好間第一三組、内郷高坂二組、赤井第二二組、泉二組、湯本四組、平第一四組

天晴れ鑛主を裝ひ 大法螺を吹き廻る
詐欺漢太田木の行方嚴探

勞農大衆黨員或は大金持と法螺を吹き廻した詐欺常習漢ルンペン宮城縣伊具郡角田町生れ前科三犯太田木(四五)は去る九月二日懇ろの間である湯本町三函日雇業時之助妻三塚あさ(三五)と同町料理業叶家事金成せん方で落花浪籍の現場を時之助に發見され鐵棒でさん／＼毆られて以來行方を晦して居たが去る十四日深更白銀町三八旅人宿水戸屋事宮崎善太郎方に現れ自稱植田町八幡下五七炭鑛主多田周吉(四六)と稱して泊り込み翌十五日宿料五圓五錢の外寢卷外衣類數點を掠拂つて逃走更に同十七日夜内郷村炭鑛主太田庄次(四三)と稱し鎌田町新甲子樓事平野井子之松方に登樓二圓五十錢を遊興した上便所行を裝ひ裏木戸から姿を晦した外町内寶炭主になり澄して數件の詐欺を働いた事判明目下平署で行方嚴探中

萬引捕はる
厄介な農村靑年

昨二十三日午前十時頃平驛前丸新デパート内吉田屋小間物店から煙草入れ及赤皮靴墓口を萬引して逃走せんとした賊あるを折から密行中の平署佐藤今朝雄巡査が發見三丁目大黑屋洋品店前で大格鬪の末取押へた男は夏井村大字藤間金吾長男坂本一廣(三三)で初めは草野村原小屋一二片寄伊八方雇人草野慶治(三三)と詐稱してゐたが遂に口を割つたので目下餘罪取調べ中

。。。。陪審員候補抽籤。 平町では來る廿八日午前十時から陪審員候補者十三名の選定抽籤を行ふ

。。。。。元患者醫師を訴ふ 勿來町出藏炭礦居住新潟縣中蒲原郡生れ坑夫鈴木枝吉(四二)は去る九月二十五日午後四時半頃坑内で作業中右腕を負傷、不具になつたのが當時扱つた同町醫師小林美定氏にも治療の手落があると同社取締役古賀春一氏及同氏を相手取り門傳辯護士を代理人に今二十四日平支部に損害賠償二千二百圓九十五錢の請求訴訟を提起した

北目で小火

今二十四日午前零時二十分頃平町北目一〇九二硫化炭素化學工業所小谷野衛政(四二)方から發火、直に發見大事に至らず鎭火した、原因は當夜職工好間村川名子入江松雄外四名が作業中入江がバケツに藥品を入れて運搬中藥品を煙筒火道をこぼした結果

給仕二名募集

十五六歳身体强健の者 自筆の履歴書携帶 希望者來談あれ

本社

直らぬ根性
出獄後闇へ戻る

住所不定無職河沼郡笈川村大字濱崎字港町八七生れ詐欺窃盜前科三犯渡部素哉(三二)が八月十七日福島刑務所を出獄して石城地方に流れ込み同二十日より平町南町飲食店兼下宿業猪狩ムラ方に雇はれ中十月下旬より本月上旬に掛けて同家より質札二枚(六圓半)下宿人櫻本實の衣類三點、同鈴木善作の腕時計衣類等を窃取した事件は今二十四日午前九時より平區に於て香西判事係り、淸田檢事關與公判開廷、求刑通り懲役二年を言渡された

○。○。茨城縣人會 平在住茨城縣人會は來月二日午後五時から大貞で開く

お披露目 しばらく出人が無く些か沈滯氣分であつた平町花柳界へ新妓二人仲家からかつら四十二歳、むさしから光子

新發賣榮養素
チキンスープ
一合金五錢

一名出しの素

歐米各國にては既に醫界の賞讃せらるゝチキンスープは我國に初めて研究發賣せらるゝものにして「チキン」數種の野菜其他種々なる榮養素を含有せらるゝものにして

病弱。兒童。保健。精力增進 榮養素にして種々の野菜煮物の出しの素には最も適して居ります

○○鷄肉も安價にて販賣致しますから何卒御買上の程御願ひ致します。(配達迅速)

平町材木町三十二番地(敎會前)

二得商會 チキンスープ專賣所

魂の入つた
機關銃印の自轉車
日章旗の如く輝く特長

一、全部鋼鐵、特種壓搾、製

二、自働注油、防水防塵、裝置

三、ヘッド及びホークのスプリング作動

斯界に比なき數多の特長を有するが故に耐久力は普通車の五倍以上、而かも惡路でも振動を感ぜず。その輕快さは本車のみ有する特長で製作者の苦心の存する所であります

機關銃印の自轉車(宣傳中) 五十八圓

戰車の如く頑强 だと御評判を賜りました。

フタバ式超重量用リヤカー(宣傳中) 廿五圓

永年修繕費のかゝらぬ 兩車の御利用を切に御願ひまうし上げます。

フタバ商會
平・新川町・月見橋際

活きのよい 味のよい 最優等の

日本一 ヒノマル ◎ 凍魚賣出し

日本水產株式會社扱

一鯛 各種
一海老 各種
一白魚
一刺身魚各種
一其ノ他品々

融解簡易にして、直ちに御用に間に合ひます。壹個にても迅速に配達致します。

磐三郡一手特約發賣元
平製氷海産部
福島縣平町電話〔三六番〕〔三六番〕

平町代理店
ト印 伊藤魚問屋
電話五二八番